



久美浜学舎のリアル

○日常編

普段の様子をお届けします！

久美浜学舎の一日は、昇降口で挨拶を交わして授業へ向かうところから始まります。晴れている日には、壁画前でお昼ご飯を食べている生徒もいます。水曜日と金曜日には学舎間バスが運行しており、網野学舎の生徒と一緒に、部活動をしている部活もあります。



日々の練習を頑張っています！



少人数での学習



ローソンの移動販売車がある！



○行事編

球技大会では、学年を超えて応援し合う姿がありました。学年を超えて関わるのが生徒にとって良い経験となっています。

1年生は、1学期にカヌー実習、3学期にスキー・スノーボード実習があります。地域に適したスポーツへの関心を広め、安全に関する知識を養うとともに、団体行動の大切さを学びます。



大阪・関西万博



球技大会



球技大会



カヌー実習



100人カイギ



妊婦体験

学校祭

テーマ：勝取舞夢(カントリーマウム)

○文化祭

久美浜学舎は、全クラスが演劇を行います。どうしたら見ている人に伝わるか考えながら、演者も裏方もクラス一丸となって演劇を創り上げました。



○体育祭

体育祭では、生徒会を中心に、服装や髪形などのルールを設定し、自分たちの決めたルールの中で思いっきり楽しみました！



3年生

優勝



2年生



1年生

準優勝

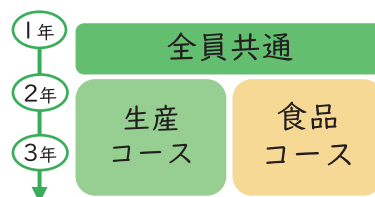


アグリサイエンス科通信

各学年の紹介

アグリサイエンス科は、農業系専門学科です。1年次は全員共通で学習します。2年次より生産コースと食品コースに分かれて学習し、授業や実習を通して専門的なことを学びます。

丹後地域の新しい農と食のカタチを創造するため、必要な知識・技術の習得を目指しています。また地域産業の発展を目指し、将来地域のリーダーとなる人材を育成します。



○1年生 全員が農業を学びます



農業の基礎を学習

1学期はトウモロコシなどの夏野菜、2学期はキャベツとダイコンを栽培します。



農商連携

網野学舎企画経営科との手刈りによる合同稲刈り実習を行いました。2・3年生の課題研究や日々の授業での連携を図っていきます。

○2・3年生 生産コース



地域活性化に貢献できる人材育成

丹後産コシヒカリ、メロン、ナシ、ブドウなどの丹後地域の特産物を教材として学習します。生産性の高い農業について学びます。

課題研究



醤油を作る中で出る醤油カスをつまつの肥料にすることで、甘いトマトができないのか、実際にトマトを育てて検証しています。甘いトマトを育てブランド化を目指しています。

○2・3年生 食品コース



地産地消にこだわっています！

自分達で生産した作物を活用し、パンやマドレーヌ、プリンなどの食品加工・製造・販売を行います。また、丹後地域の魅力を食の面から発信します。

課題研究

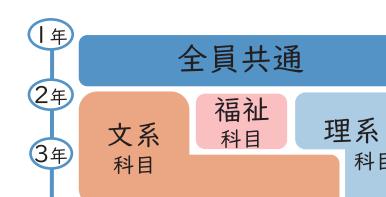


酒カスを使ったカステラを試作しています。地球温暖化と共に米が堅くなり酒カスの量が増えています。今後も増える酒カスを食の面から地域で有効活用できないかを考え、レシピの開発を行っています。

みらいクリエイト科通信

各学年の紹介

みらいクリエイト科は、普通科系専門学科です。1年次は全員共通で学習し、2年次より文系・理系・福祉科目の中から履修するものを選択し、自分の希望進路に合った学習ができます。普通科と同様に、4年制大学への進学にも対応したものとなっています。みらい探究の授業では、3年間を通して探究の見方・考え方を正しく理解し、地域にある課題や、自分自身の興味・関心があることについて探究を行っています。



○1年生



ていねいな学習指導

授業や講習等で中学校の内容から学び直しもします。生徒が「分かった！」を実感できるように指導します。

○1年生 みらい探究Ⅰ



探究学習の基盤づくり

みらい探究Ⅰでは、探究活動の基礎を学びます。情報の集め方や分析方法について学習しています。

○2年生 福祉科目



2年次に福祉科目を選択することで、介護職員初任者研修修了が可能です。

○2年生 理系・文系科目



2年次に文理選択ができます。物理基礎の授業は網野学舎と遠隔授業を行います。(理系選択者)

○2年生 みらい探究Ⅱ



教室を飛び出し地域を知る！

みらい探究Ⅱでは、地域の課題を発見したり、自分自身の興味・関心から「問い」を立てます。自分の好きなテーマで本格的に探究をスタートさせます。探究テーマは人それぞれです。

○3年生 進路実現



放課後には入試科目の進学講習や小論文の添削、面接練習などを行っています。生徒1人1人が希望進路実現に向けて、頑張っています。



○3年生 みらい探究Ⅲ



みらい探究Ⅲでは各自の探究テーマについてとことんアクションを起こします。さらに今後の生き方と探究活動を結びつけるのが探究活動のまとめに繋がります。

